

福岡エリア 市況レポート



2021年がスタートして、早くも1か月が経過しようとしています。米国では、新たな大統領が誕生し、株式市場も好調に推移していて、実体経済とは別に、金融市場は活況を呈しているように見えます。

不動産業界においては住宅の需要期にあり、売買も賃貸市場も繁忙期にはなっています。幸いにも、住宅市場や投資市場では、金利の低水準が続いていることもあって、このコロナ禍でも需要は強く、むしろ供給が追い付かず、一部では品薄感さえ感じられるような状況にもあります。

福岡県に目を向けて見ますと1月13日に首都圏に続き追加で緊急事態宣言が発出されました。全国的にもそうですが、前回の緊急事態宣言と比較し目立った自粛効果は見られず、人出も減っていないように見受けられます。また、感染者も横ばいか微減で推移しており、2月7日の宣言解除に向けて不安視する声もあります。

一方、中古マンション市場においては特に福岡都市圏のマンション価格が上昇しておりますが、着実に成約が増えています。3月末までの入居を見据えての動きだと推察しますが、物件が例年に比べて少ないこともあり、競争が激化しているように思います。

いつまで続くかは分かりませんが、少なくとも3月までは購入希望者より売却される方に有利な市場が続くと思われまますので、売却が可能な物件を所有されている方はコロナ特需とも言える現在の状況での売却をご検討されてみては如何でしょうか。

また、購入を検討されておられる方においても、市場の動向は予測は出来ても、確実なことは誰にも分かりません。先が見えない状況が続いておりますが、ご自身やご家族のライフプランを見据えた上でのタイミングで購入をご検討されてみては如何でしょうか。



もっと、わくわく!

あなぶきグループ